

# 無縫 No.74

発行 一般財団法人 田澤記念館  
住所 佐賀県鹿島市大字高津原434番地  
発行責任者 平野 重徳・小池 幸照  
発行所 鹿島印刷株式会社  
発行日 2018年6月20日

## スポーツ庁長官 鈴木大地氏 来館



5月8日(火) スポーツ庁長官鈴木大地氏が当館を訪問された。鹿島市エイブル主催のエイブル祭りでの講演のためであり、その前に田澤記念館を見学された。館長が田澤義鋪や田澤記念館の活動について説明を行った。

来館のためにインターネットで少しは学んできたと話されていたが、田澤精神を受け継ぐ少年クラブやユースカレッジ、出前授業等の活動について興味をしめされ「大変素晴らしい活動をされているので是非とも続けてほしい」と述べられた。当館の維持について館長から「お力添え」をと鈴木長官にお願いをすると、「文化庁のほうに話してはみます」との返事であった。当館から「この人を見よ」と「郷土の光り 田澤義鋪」を贈呈した。記念すべき1日となった。

## 樋口鹿島市長 鹿島市連合青年団 第1回 例会に激励の言葉

平成30年3月30日(金) 20時から田澤記念館に於いて鹿島市連合青年団の第1回例会が開催されました。来賓として、鹿島市長、教育委員会、田澤記念館館長、県連合青年団が出席しました。その中で樋口鹿島市長がスポーツ庁長官の話や自分の若かりし時に、竹下 登(前総理)氏から話をしていた。「何故か?」「佐賀県出身は田澤義鋪先生を知っているだろう。自分も尊敬している。青年団活動を頑張り、団長もやった。自分の根本には青年団活動があり、地域創生事業も田澤精神が源流である。鹿島は田澤先生の地元であるのでしっかり継承し頑張りなさい」というような話であった。聞いていた青年団達はやる気を示していた。



## 田澤義鋪直筆の手紙

鹿島市明治維新150年記念事業 田澤義鋪顕彰事業  
～平凡道を非凡に歩め～の目玉として、昭和19年1月6日に田澤義鋪が鹿島の森田家から東京に住む妻節子様に送られた手紙である。

四男の義彦様から提供していただいた。昭和19年は義鋪が四国の善通寺で講演中に倒れた年である。達筆なため我々には確実に読むことができなかった。鹿島図書館の高橋学芸員を中心にエイブル(永池)館長や唐泉山房(杉谷)さんそして、四男義彦氏と解説に当たった。その結果、家族への新年訓等が綴られていることがわかった。貴重な資料としてエイブルで展示を行う予定である。



## 第28期少年クラブ開講式



5月13日(日)第28期少年クラブの開講式を行った。今年は11名(全員鹿島小女子)の参加であったが、靴そろえ等言われなくてもできていた。残念なことに平野会長が体調を崩し出席していただけなかったが、小池代表理事から「一事実行」等の話があり、クラブ員は熱心に聞き入っていた。団長の坂口恋琉(れいら)さんが、しっかり学んでいくこととお礼の言葉を述べ、式を閉じた。その後班編制や昼食準備、配膳、会食後片付けを自分たちで行い1回目の活動を終えた。これから月1回の活動が始まる。

## 鹿島市教育委員会で出前授業の打合せ



今年度の鹿島市内小学校への出前授業について鹿島市教育委員会生涯学習課の山崎課長と教育総務課の寺山課長とで打合せを行った。結果として、市内校長会で出前授業(田澤義鋪先生)について説明し、鹿島市としても田澤義鋪出前授業に力を入れていることをアピールするということであった。田澤記念館として今年も昨年以上に気合いを入れて取り組もうと決意を新たにした。

## 第26期ユースカレッジ始まる

5月28日(月)平成30年度第26期ユースカレッジ開講式が行われた。総勢21名の鹿島の将来を支える若者がドキドキしながら集まりました。式では、小池代表理事の挨拶後自主的に班編制や班長を決定しました。今年度は3班全てが女性が班長、副班長に立候補し決定しました。最初の講義は、富久千代酒造代表取締役、杜氏の飯盛直喜氏でした。「平凡道を非凡に…」の演題でインターナショナルワインチャレンジチャンピオンSAKE「鎗島」ができるまでの苦労や人との繋がり、覚悟と決意等の話があった。研修生達は飯盛氏の話に聞き入っていた。

### 研修生の感想から

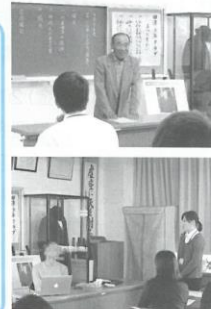
飯盛さんに、夢を実現するために非凡に歩んだ道のりのお話を聴かせていただいた。田舎には何もないと決めつけて、都会に憧れる気持ちは誰も抱くものだと思う。しかし、飯盛さんが言われたように、鹿島には、何も無いのではなく、見えていなかったのだと思う。視点を変えれば、見える景色の中で、いくつもの光るものを認識できるようになる。私も、実際大学の四年間は鹿島を出て、沖縄で過ごした。異なる土地を知ったことで、鹿島について再発見することも多い。また、より深く鹿島を知ろうという意識が生まれた。

今は、エイブルで鹿島の歴史や芸術を紹介する展示を担当しているが、今まで自分がいかに地元のことを知らなかったか日々痛感している。

私が今すべきことは、鹿島について深く細かく知識を広げ、鹿島に無関心な層に対して分かりやすく、かつ楽しく伝え、それぞれの意識の改革、人生の見直しに役立ててもらおうことだと思っている。

飯盛さんのように、大きい業績とまでは言わないが、地域の若者層に刺激を与え、盛り上げるような取り組みを行いたい。地元、飯盛さんのような成功モデルがいることは大変心強い。

鹿島市生涯学習センターエイブル 小池美里



## 鹿島ん桜 劇(～田澤義鋪物語～)の台本

佐賀の8賢人おもてなし隊の出演者による田澤劇の台本が完成した。作者の谷口文章氏(島 義勇 役)が鹿島を訪れ、エイブルで話し合いを行った。谷口氏は鹿島高校(白石町)出身で台本を書いたり劇の指導をしたりしている。

今回の「鹿島ん桜」は一昨年前、本丸歴史館で行われた「故郷は錦で…」田澤義鋪劇の続きで、高校、大学、郡長、官僚(青年団指導・選挙粛正運動・労使協調運動)から香川県善通寺の場面までを網羅している。下村湖人、後藤文夫、廣田弘毅等も出演する予定であり、鹿島市からも誰かに白羽の矢が立つのでは…?



## 鹿島市明治維新150年記念事業 田澤義鋪顕彰事業 ～平凡道を非凡に歩め～

とき 7月22日(日) 開演13時30分(開場13時)

ところ エイブルホール 入場無料 全席自由 要整理券

整理券はエイブル2階事務局、田澤記念館にて配布中。

ただし配布枚数に達し次第、配布終了します。

内容 【オープニング】大村方獅子舞

【講演】[21世紀型教育からみる 田澤思想]

講師：桜の聖母短期大学 三瓶千香子 准教授

【鹿島ん桜～田澤義鋪物語～】佐賀八賢人おもてなし隊の役者と はっぴい♥かむかむ 稲葉ゆうこさんによる演劇。

